

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和06年06月20日(木)

事務事業		救助活動事務				担当課	花園消防課	担当係	花園消防署	管理番号	61611	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり			根拠法令 個別計画等	・消防法 ・高圧ガス保安法 ・消防組織法 ・銃砲刀剣類所持等取締法 ・消防力の整備指針 ・深谷市消防防規程					
	小項目	2	消防・救急体制の充実									
	主要プロジェクト											
事業概要		火災、交通事故及び水難事故をはじめとする各種災害から迅速に人命を救うため、特殊な装備や資器材を備えた車両及び高度で専門的な知識と技術を身に付けた隊員を配備し、各種災害現場において迅速・確実かつ安全な救助活動を遂行する。										
目的 ※何のために		市民の生命、身体及び財産を火災や各種災害から保護するとともに、被害の軽減を図ることを目的とする。										
対象 ※誰・何を対象に		市民の生命、身体及び財産。										
手段 ※どのように		複雑多様化する各種災害に対応するために、訓練、研修等を実施し技術、知識の向上を図るとともに、各種装備、資器材の点検、整備を実施し、常時使用可能な態勢を整えることで迅速な救助活動を遂行する。										
成果 ※何を求めるか		各種災害現場における救助活動時間の短縮、年間計画に基づく訓練の実施及び各種装備資器材の点検、整備状況を把握する。										
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）										
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）					
本事業の 主な業務		・救助活動等災害対応業務					・					
		・救助資器材の維持管理業務					・					
		・各種救助訓練の立案、調整、実施に関する業務					・					
		・管内の警防計画業務					・					
		・管内における危険場所、箇所等の調査及び啓発					・					
		・救助活動記録票、統計及び即報の作成事務					・					

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
年度別計画								
事業費	予算（現額）	0	0	0	0			
	決算額	0	0	0	0			
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0	0		
		一般財源	0	0	0	0		
人件費	従事職員数（人）	0.10	0.10		0.00			
	人件費相当試算※	786,956.00	801,017.00		0.00			
総事業費試算		786,956	801,017	0	0			

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	救助出場件数（暦年）	目標値	件							
		実績値		65.00	76.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			救助出場件数のため目標値の設定に値しない。 / 出場件数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	訓練・研修回数	目標値	回	32.00	32.00					
		実績値		32.00	32.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年間訓練計画表に基づく水難訓練・職員研修 / 実施回数						
	実績値の算出式									
活動指標 3	資器材点検実施率	目標値	%	100.00	100.00					
		実績値		100.00	100.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			100%の資器材点検を目標とする。 / 実施日／365日×100						
	実績値の算出式									
成果指標 1	資器材常時使用可能率	目標値	%	100.00	100.00					
		実績値		100.00	100.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			車載されている全資器材の常時使用可能率。 / 使用可能数／全資器材×100						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	訓練・研修回数は、年度当初に策定した年間訓練計画に基づき計画的に実施した。資器材点検は装備品を含めて日常・週間・月例点検を計画どおりに実施した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	車載している資器材は、救助隊が出場し救助活動を実施した事案はもとより、訓練時においても異常なく使用できた。そのため、使用可能率100%を達成できた。
			評価者 救助係長 荏塚教弘・根岸雅之

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	訓練・研修はWEB視聴を活用して、現地参加と同等の効果を得たとともに、人件費を削減できた。資器材の点検結果は電子処理することで、紙用紙を削減することができた。 また、災害や訓練の事後検証の際に、ウェアラブルカメラの映像を活用することで、情報を効率的に共有できたとともに、検証資料を作成する時間を削減することができた。
			評価者 救助係長 荏塚教弘・根岸雅之

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	救助工作車及び資機材車に代わり、当消防本部初導入の支援車が運用となる見込みである。各種災害対応に万全を期するため、支援車に係る調査・研究を進め、運用方法や積載資器材の選定等を決定する。また、所属職員全員が事故なく使用できるよう、取扱について説明及び訓練を実施する。
達成状況及び その効果	近年の社会情勢の変化により、支援車の導入が令和6年度となったが、支援車に係る調査・研究を進めながら、近隣導入消防本部へ視察し、運用方法や積載資器材選定の検討を重ね、その内容を決定するに至った。また、取扱マニュアルの素案を作成したことで車両導入後、取扱訓練及び本格運用に向けてスムーズに移行できる。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	救助活動事務	担当課	花園消防課	担当係	花園消防署	管理番号	61611
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		救助隊は、深谷消防署、花園消防署のみに配置され、重機及びNBC災害に対応する資器材は深谷消防署に、水難救助資器材、都市型救助資器材は花園消防署に配置し、両救助隊の専門性を明確化しているが、車両や一部の資機材は重複投資の状況にあるため、消防組織再編基本方針に基づく経営資源の再配置と、深谷消防署、花園消防署の本事業の統合によって業務の効率化を図る必要がある。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	深谷消防課長	小林	晃昌		

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

